

教育制度論



第3テーマ 教育制度の基礎概念

担当教員について

- ・中村裕（保育科所属） 3904研究室

連絡先（主に授業の内容に対する質問）：

yutakan@wa.seitoku.ac.jp

※Moodleのシステムについては総合メディア室、
履修関係については教育支援課へお尋ねください
（教員ではお答えできません）。

授業の進め方について

- ・トピックごとに、レジュメ、補足・解説、小テストをアップロードしておきます。
- ・レジュメ(通学授業で配布するものと同じ)と、補足・解説を照らし合わせて、内容の理解を図ってください。

小テストの補足

- ・以下では常体で述べていきます。

小テストの補足

- ・「教育原理」の第9テーマ、本科目の第2テーマ、実習指導などを踏まえればほぼ正答へ至れる内容である。
- ・正答率が高い。
- ・本科目の後のテーマでも扱うので、ここで内容の補足はしない。

ようやく本題に……

ようやく本題に……

- ・レジュメの補足・解説に移る。
- ・今回も、まずⅠ、Ⅱの設問をすべて解いてほしい。
- ・必須ではないが、レジュメをプリントアウトし、そこへ書き込む方式が解きやすい。
- ・少なくとも、設問への解答はノート等へ記した方が定期試験などにとっては有用である。

ようやく本題に……

なお、Ⅱ－2までの設問は「教育原理」で一度扱った内容である（第3，5テーマ）。

これは教育者になる上で重要なので、答えられることが望ましい。

※ただし、設問に際し、あまり緻密に記述すると時間がかかる。よく理解している設問は解答せずともよい。



ようやく本題に……

※新しい内容(Ⅱ－2以後)については、本テーマで扱う内容である。キーワードを示すなど可能な範囲で答え、後に【補足・解説】を確認して理解を深めれば良い。

※もちろん、関心がある内容なら意欲的に解答することに意味はある。



ようやく本題に……

……というわけで、このファイルは一度閉じても
問題ない。



ようやく本題に……

(レジュメの設問に解答中……)

ようやく本題に……

さて、レジュメの設問への解答が終わったならば各問の内容を確認していく。

「ここはよく分かっている」という場合は流し読みでよい。

第3テーマ 教育制度の基礎概念

I 教育の定義、教育が行われる時空

第3テーマ 教育制度の基礎概念

I 教育の定義、教育が行われる時空



先述の通り、重要な内容である。【重要】と示される箇所は十分な理解が必要である。

第3テーマ 教育制度の基礎概念

I 教育の定義、教育が行われる時空



もっとも、すでに学んだ内容でもある。【重要】と示されていても「十分に理解している」と自覚できるならある程度読み飛ばして良い。

I 教育の定義、教育が行われる時空

- ・【補足・解説】で示した内容が大半を占める
- ・淡々と空欄を埋めていく。

I 教育の定義、教育が行われる時空

【重要】 教育の定義

☆教育は、人間の成長発達を支援するいとなみである。

・(幼児)教育に携わる者にとって、もっとも基本的かつ究極的な目的になる。

I 教育の定義、教育が行われる時空

【参考】 幼稚園の目的（学校教育法第22条より）

- ・義務教育以後の基礎を培うこと。
- ・幼児の健全な成長のために適切な環境を与えること。
- ・幼児の心身の発達を助長すること。

I 教育の定義、教育が行われる時空

【参考】 幼稚園の目的（学校教育法第22条より）

- ・義務教育以後の基礎を培うこと。
- ・幼児の健全な成長のために適切な環境を与えること。
- ・幼児の心身の発達を助長すること。

↑このうち幼稚園の目的の中核をなすのは？

I 教育の定義、教育が行われる時空

【参考】 幼稚園の目的（学校教育法第22条より）

- ・義務教育以後の基礎を培うこと。
- ・幼児の健全な成長のために適切な環境を与えること。
- ・幼児の心身の発達を助長すること。

↑このうち幼稚園の目的の中核をなすのは？

I 教育の定義、教育が行われる時空

【参考】「教育原理」第3テーマの教育の定義

・「教育」とは、「個人あるいは特定の機関が、一定の価値や理想を目指して、ある人間を望ましい姿に成長変化させるために、意図的・計画的*に支援する行為」である。

I 教育の定義、教育が行われる時空

【参考】「教育原理」第3テーマの教育の定義

・「教育」とは、「個人あるいは特定の機関が、一定の価値や理想を目指して、ある人間を望ましい姿に成長変化させるために、意図的・計画的*に支援する行為」である。

・修飾語が加わっているが、最も重要なポイントは、「人間を成長変化させるための支援」＝教育ということである。

I 教育の定義、教育が行われる時空

【参考】「教育原理」第3テーマの教育の定義

・「教育」とは、「個人あるいは特定の機関が、一定の価値や理想を目指して、ある人間を望ましい姿に**成長変化**させるために、**意図的・計画的***に**支援する**行為」である。

・なお、「教育課程論」などで学ぶはずであるが、必ずしも「意図的・計画的ではない教育」もある。

【発展】「隠れたカリキュラム」などとよぶ。

I 教育の定義、教育が行われる時空

2 教育が行われる時空

- ・教育は、行われる。(時間)
- ・教育は、行われる。(空間)
- ・教育は、行われる。(属性など)

☆このように言うことができる理由は？

I 教育の定義、教育が行われる時空

2 教育が行われる時空

- ・教育は、いつでも行われる。(時間)
- ・教育は、どこでも行われる。(空間)
- ・教育は、誰によっても行われる。(属性など)

【重要】このように言うことができる理由は？

・教育を人の成長発達への支援と捉えたと、そうした営みは社会のありとあらゆるところ、言い換えれば日常生活すべてで行われ得るからである。

I 教育の定義、教育が行われる時空

2 教育が行われる時空

- ・教育は、いつでも行われる。(時間)
- ・教育は、どこでも行われる。(空間)
- ・教育は、誰によっても行われる。(属性など)

【重要】このように言うことができる理由は？

- ・Moodleコースを例にすると分かりやすい。これは、教員と学生が空間・時間を共有する必要が無い(いつでも、どこでも教育活動が行われ得る)。

I 教育の定義、教育が行われる時空

2 教育が行われる時空

- ・教育は、いつでも行われる。(時間)
- ・教育は、どこでも行われる。(空間)
- ・教育は、誰によっても行われる。(属性など)

【重要】このように言うことができる理由は？

・また、成長発達への支援は、誰からでも得られる。
たとえば実習では、学生の成長は子ども(利用者)からも支援される＝教育的作用を受ける。

Ⅱ 教育の組織化

Ⅱ 教育の組織化



理論的な内容で、少し難しい。

Ⅱ 教育の組織化

・ここでは、「日常生活のありとあらゆるところで行われ得る教育が、なぜ組織化*されるようになったのか」を考える。

【重要】「組織的な教育」（レジュメ3ページ冒頭）

- ・集団で、特定の形式で行う教育
 - ・特定の教育内容を伝えることを重視する教育
 - ・教育の速さや効率性を重視する教育
- 典型的には「学校教育」

Ⅱ 教育の組織化

- ・その手がかりの一つが、教育と社会的能力の関係である。

Ⅱ 教育の組織化

問1 教育と社会的能力の関係について、簡潔に説明せよ。

Ⅱ 教育の組織化

問1 教育と社会的能力の関係について、簡潔に説明せよ。

【解答例】 【重要】

「ヒトは教育によって人間となる」という言葉がある。これは、生物としてのヒトは生まれつき社会的能力を有していないこと、また、ヒトが教育を通じて社会的能力を身に付け、社会的生物としての「人間」となっていくことを意味している。

↑ スペースの関係上「野生児」関連は割愛した。

Ⅱ 教育の組織化

問2-a 社会的能力について、具体的な例を三つ以上挙げよ。

Ⅱ 教育の組織化

問2-a 社会的能力について、具体的な例を三つ以上挙げよ。

・これは「社会を構成するために、社会を維持するために、社会で生きていくために身に付けるべき能力」であれば、何を挙げても良い。

Ⅱ 教育の組織化

問2-a 社会的能力について、具体的な例を三つ以上挙げよ。

以下は、典型的な「社会的能力」である。

- ・読み、書き、計算の能力
- ・集団のルール
- ・〇〇のマナー・作法
- ・道徳、文化、歴史
- ・着衣の習慣、料理の技術
- ・〇〇といった道具の使用方法

Ⅱ 教育の組織化

問2-a 社会的能力について、具体的な例を三つ以上挙げよ。

以下は、典型的な「社会的能力」である。

- ・読み、書き、計算の能力
- ・集団のルール
- ・〇〇のマナー・作法
- ・道徳、文化、歴史
- ・着衣の習慣、料理の技術
- ・〇〇といった道具の使用方法

【重要】

これらの能力は、
生まれつき
身についていない。

Ⅱ 教育の組織化

問2-a 社会的能力について、具体的な例を三つ以上挙げよ。

以下は、典型的な「社会的能力」である。

- ・読み、書き、計算の能力
- ・集団のルール
- ・〇〇のマナー・作法
- ・道徳、文化、歴史
- ・着衣の習慣、料理の技術
- ・〇〇といった道具の使用方法

【重要】
生まれた後に、
教育を通じて
これらの能力を
身に付ける。

Ⅱ 教育の組織化

問2-a 社会的能力について、具体的な例を三つ以上挙げよ。

以下は、典型的な「社会的能力」である。

- ・読み、書き、計算の能力
- ・集団のルール
- ・〇〇のマナー・作法
- ・道徳、文化、歴史
- ・着衣の習慣、料理の技術
- ・〇〇といった道具の使用方法

【重要】
いつ、どこで、
どうやって
これらを
身に付ける？

Ⅱ 教育の組織化

問2-b 自分が小学校に入学した時、はじめに学んだことは何か、二つ以上挙げよ。社会的能力(と関わる内容)であることが望ましい。

Ⅱ 教育の組織化

問2-b 自分が小学校に入学した時、はじめに学んだことは何か、二つ以上挙げよ。社会的能力(と関わる内容)であることが望ましい。

- ・これは、学生により多少は経験(と記憶)が異なる。

Ⅱ 教育の組織化

問2-b 自分が小学校に入学した時、はじめに学んだことは何か、二つ以上挙げよ。社会的能力(と関わる内容)であることが望ましい。

・一般的には、以下のようなことを就学後はじめに学ぶことが多い。

- ・文字の読み書き
- ・計算
- ・集団行動のルール

Ⅱ 教育の組織化

問2-b 自分が小学校に入学した時、はじめに学んだことは何か、二つ以上挙げよ。社会的能力(と関わる内容)であることが望ましい。

・一般的には、以下のようなことを就学後はじめに学ぶことが多い。

- ・文字の読み書き
- ・計算
- ・集団行動のルール

←これらは分かりやすい。

←この具体的な内容は？

Ⅱ 教育の組織化

問2-b 自分が小学校に入学した時、はじめに学んだことは何か、二つ以上挙げよ。社会的能力(と関わる内容)であることが望ましい。

※就学後ただちに学んだ集団行動のルールは？

いろいろあるが、以下を例示する。

- ・教室で出席番号順に並んで座る。
- ・集会の時、クラスごとに整列し体育館へ移動する。
- ・時間割に従って授業を受ける。

↑これは集団行動のルールである。

Ⅱ 教育の組織化

問3 上の問2aで挙げた社会的能力について、いつ、どこで、どのようにして身に付けるか、自分が挙げたそれぞれの能力について述べよ。

Ⅱ 教育の組織化

問3 上の問2aで挙げた社会的能力について、いつ、どこで、どのようにして身に付けるか、自分が挙げたそれぞれの能力について述べよ。

- ・これは、挙げた能力により様々な解答があり得る。

Ⅱ 教育の組織化

問3 上の問2aで挙げた社会的能力について、いつ、どこで、どのようにして身に付けるか、自分が挙げたそれぞれの能力について述べよ。

- ただ、おおむね以下のように分類できると考える。
- 家庭で保護者からしつけられた。
- 学校(や保育所)で学んだ。
- 地域社会の生活を通じて身についた。

Ⅱ 教育の組織化

問3 上の問2aで挙げた社会的能力について、いつ、どこで、どのようにして身に付けるか、自分が挙げたそれぞれの能力について述べよ。

ここで想起して欲しいのは、就学前段階だと「子により生育環境が大きく異なる」ことである。
→ならば、子が身に付ける社会的能力は？

- 家庭で保護者からしつけられた。
- 学校(や保育所)で学んだ。
- 地域社会の生活を通じて身についた。

Ⅱ 教育の組織化

問3 上の問2aで挙げた社会的能力について、いつ、どこで、どのようにして身に付けるか、自分が挙げたそれぞれの能力について述べよ。

【重要】

就学前段階で身に付ける社会的能力は、
生育環境により差違がある。

- 家庭で保護者からしつけられた。
- 学校(や保育所)で学んだ。
- 地域社会の生活を通じて身についた。

Ⅱ 教育の組織化

【重要点の整理】

- ・集団行動のルールは「社会的能力」の一つである。
→生まれつき身についていない。
 - ・就学前の段階では、生育環境により、子どもが身に付ける社会的能力には違いがある。
- ☆しかし、集団行動のルールは、いずれすべての子が身に付ける必要がある(と期待される)。

Ⅱ 教育の組織化

問4 上の問3で挙げた社会的能力を身に付ける
時空について以下の質問に答えよ。

Ⅱ 教育の組織化

問4 上の問3で挙げた社会的能力を身に付ける時空について以下の質問に答えよ。

- ・察しの良い学生は、すでにこのテーマの要点の理解へ至っていると推察する。

Ⅱ 教育の組織化

問4 上の問3で挙げた社会的能力を身に付ける
時空について以下の質問に答えよ。

①家庭・社会以外で身に付ける社会的能力……

- ・これは、「学校＝組織的な教育の場で身に付ける社会的能力」を想定する。
- ・（家庭・社会ではなく）学校で身に付ける社会的能力には何があるか。

Ⅱ 教育の組織化

※学校

(＝組織的な教育の場)で身に付ける社会的能力

問2-bでは、以下の能力を挙げた。

Ⅱ 教育の組織化

※学校

(＝組織的な教育の場)で身に付ける社会的能力

問2-bでは、以下の能力を挙げた。

- ・教室で出席番号順に並んで座る。
- ・集会の時、クラスごとに整列し体育館へ移動する。
- ・時間割に従って授業を受ける。

Ⅱ 教育の組織化

※学校

(＝組織的な教育の場)で身に付ける社会的能力

- ・教室で出席番号順に並んで座る。
- ・集会の時、クラスごとに整列し体育館へ移動する。
- ・時間割に従って授業を受ける。

入学前にこれらができる子、できない子がいる。
すなわち、それまでの生育環境により小学校へ
入ったときの状態には差がある。

Ⅱ 教育の組織化

※学校

(＝組織的な教育の場)で身に付ける社会的能力

- ・教室で出席番号順に並んで座る。
- ・集会の時、クラスごとに整列し体育館へ移動する。
- ・時間割に従って授業を受ける。

すなわち、これらの能力を「一クラス(30人程度)単位で、すべての子が一律に身に付ける機会は、(家庭・社会ではなく)学校での教育だということになる。

Ⅱ 教育の組織化

※学校

(＝組織的な教育の場)で身に付ける社会的能力

・読み書き能力

より簡便には、読み書き能力を想定すればよい。
すなわち、就学前の読み書き能力には子により
差がある。しかし、学校教育を通じて、「一クラス
(30人程度)の単位で、すべての子が一律に
読み書き能力を身に付ける」ことが期待される。

Ⅱ 教育の組織化

【整理】

※学校

(＝組織的な教育の場)で身に付ける社会的能力

- ・読み書き能力
- ・集団行動のルール



【重要！】

これらは、学校で、一定の集団の子どもが
一律に身に付ける(ことが期待される)能力である。

※上は古典的な理解で、現在の日本においては当てはまらない場合もある(例：早期教育)。

Ⅱ 教育の組織化

問4ー②

Ⅱ 教育の組織化

問4ー②

・端的な解答は、「組織的に教育されることで身に付ける能力である」となる。

- ・では、たとえば
 - ・読み書き能力
 - ・集団行動のルール

は、なぜ組織的に教育される必要があるか。

Ⅱ 教育の組織化

問4ー②

・端的な解答は、「組織的に教育されることで身に付ける能力である」となる。

- ・読み書き能力
- ・集団行動のルール

が組織的に教育される理由……

Ⅱ 教育の組織化

問4ー②

・端的な解答は、「組織的に教育されることで身に付ける能力である」となる。

- ・読み書き能力
- ・集団行動のルール

【重要】

これらの能力は、組織的に教育された方が迅速かつ効率的に身に付けられるからである。

Ⅱ 教育の組織化

2 教育の組織化

Ⅱ 教育の組織化

2 教育の組織化



ここからが新しい内容になる。
「教育原理」などで学んだ知識をより深めていく。

Ⅱ 教育の組織化

問1 教育を広くとらえた時、教育は人類の歴史の中でいつ始まったか……

Ⅱ 教育の組織化

問1 教育を広くとらえた時、教育は人類の歴史の中でいつ始まったか……

端的な答えは、「教育は、人類の歴史とともに始まった」となる。

Ⅱ 教育の組織化

問1 教育を広くとらえた時、教育は人類の歴史の中でいつ始まったか……

すなわち、教育を以下のように捉える。

- ・教育は人の成長発達への支援である。
- ・そうした教育は日常生活すべてで行われる。

→人類が社会を形成した時、そこに日常生活は存在したはずである。そして、日常生活には教育的な作用がある。

Ⅱ 教育の組織化

問2 人類最初期の教育はどのような形態で行われたか。

Ⅱ 教育の組織化

問2 人類最初期の教育はどのような形態で行われたか。

これは、「日常生活を通じて行われる教育は、具体的にどのようなやり方で行われたか」という問いかけになる。

すなわち……

Ⅱ 教育の組織化

問2 人類最初期の教育はどのような形態で行われたか。

こんな感じ



Ⅱ 教育の組織化

問2 人類最初期の教育はどのような形態で行われたか。

このような時代に、
教育はいかに
行われていたか。



Ⅱ 教育の組織化

問2 人類最初期の教育はどのような形態で行われたか。

- ・端的には、「日常生活を通じて知識技術が伝えられた」となる。

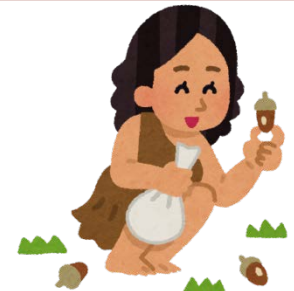


Ⅱ 教育の組織化

問2 人類最初期の教育はどのような形態で行われたか。

・端的には、「日常生活を通じて知識技術が伝えられた」となる。

狩り・採集にしる、調理にしる、火起こしにしる、
日常生活を通じて年長世代から年少世代へ
知識技術が継承されていった、と考えられる。



Ⅱ 教育の組織化

問2 人類最初期の教育はどのような形態で行われたか。

・端的には、「日常生活を通じて知識技術が伝えられた」となる。

口頭による知識技術の伝達もあったろうし、実演、共同作業、あるいは年少者が年長者の模倣をする、というかたちもあったであろう。



Ⅱ 教育の組織化

問2 人類最初期の教育はどのような形態で行われたか。

・端的には、「日常生活を通じて知識技術が伝えられた」となる。

これらを総括して、「非組織的な教育」にとらえる。



Ⅱ 教育の組織化

問2 人類最初期の教育はどのような形態で行われたか。

・端的には、「日常生活を通じて知識技術が伝えられた」となる。

【重要】「非組織的な教育」は、簡便には、「決まったかたちをとらない教育」という理解でよい。



Ⅱ 教育の組織化

問2 人類最初期の教育はどのような形態で行われたか。

つまり、この問には、「人類最初期の教育は非組織的に行われた」と答えてもよい。

すなわち……

Ⅱ 教育の組織化

問3は、「人類の歴史の中で、非組織的な教育が組織化されるようになった理由は何か」と読替えられる。

Ⅱ 教育の組織化

問3 人類の歴史の中で非組織的な教育が組織化されるようになった理由は何か。

Ⅱ 教育の組織化

問3 人類の歴史の中で非組織的な教育が組織化されるようになった理由は何か。

- ・これまでの内容を踏まえると「集団のルール等を効率的に伝えるため」となる。

同じ内容は次のテーマでも学ぶので、ここでは簡潔に示す。

Ⅱ 教育の組織化

問3 人類の歴史の中で非組織的な教育が組織化されるようになった理由は何か。

・これまでの内容を踏まえると「集団のルール等を効率的に伝えるため」となる。

より具体的には、「人類社会の発展にともない、集団のルールを組織的教育によって効率的に伝える必要が生じたから」である。

Ⅱ 教育の組織化

つまり、このような時代は生活集団の規模も小さく、集団のルールも日常生活で伝えられたが、



人類社会が発展すると生活集団の規模が大きくなり、「まとめてルール等を伝達する」ことが必要になった。

「日常生活を通じた教育」だけでコレ→
は作れないであろう。



Ⅱ 教育の組織化

【小括】

- ・人類最初期の教育は非組織的に行われた。
- ・人類社会の発展にともない、教育が組織化された。
その理由の一つは、「集団へのルール等の迅速・効率的伝達」である。

Ⅱ 教育の組織化

☆ まとめ

これは自由に活用する。発展的内容である。

より簡易には、「もともと家庭教育のように「わたくしごと」として行われていた教育が、学校教育のように「社会全体の事業」として行われるようになった理由は何か」である。

Ⅱ 教育の組織化

☆ まとめ

これは自由に活用する。発展的内容である。

より簡易には、「もともと家庭教育のように「わたくしごと」として行われていた教育が、学校教育のように「社会全体の事業」として行われるようになった理由は何か」である。

→これについてよく理解しまとめられたなら、ここまでの内容はほぼ理解できている。

Ⅲ 最初期の教育制度

もう少しでこのテーマは終わる。

Ⅲ 最初期の教育制度

ここでは、☆と【補足】は割愛する。

問と【参考】を見ていく。

Ⅲ 最初期の教育制度

ただし、問の解答はこれまでにほぼ示している。

Ⅲ 最初期の教育制度

・つまり、「人類社会が発展し行われるようになった組織的教育が、人類最初期の教育制度である」ということになる。

・そこでは、「集団のルール等の伝達」が一つの目的になる。

・興味深いことに、様々な時代の、様々な地域で、「集団のルール等の伝達」の機会は、「おとなと「それ以前」を分ける儀礼(=入社式)」という事例として確認できる。

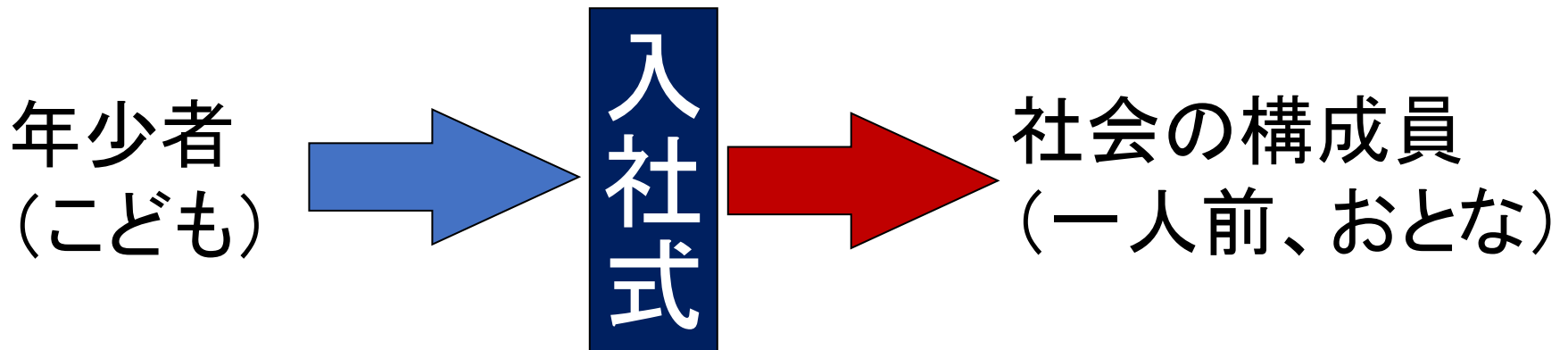
Ⅲ 最初期の教育制度

【参考】 最初期の教育制度……入社式
(加入礼、通過儀礼、イニシエーション(initiation))

Ⅲ 最初期の教育制度

【参考】 最初期の教育制度……入社式
(加入礼、通過儀礼、イニシエーション(initiation))

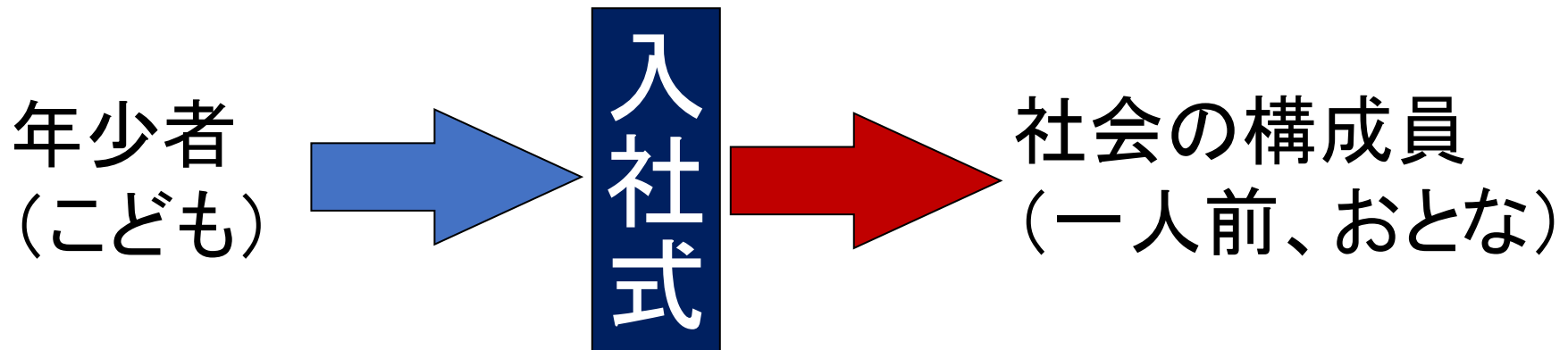
- ・入社式とは、「それを終えることで社会の一員(＝一人前)と見なされる儀式」のことである。



Ⅲ 最初期の教育制度

【参考】 最初期の教育制度……入社式
(加入礼、通過儀礼、イニシエーション(initiation))

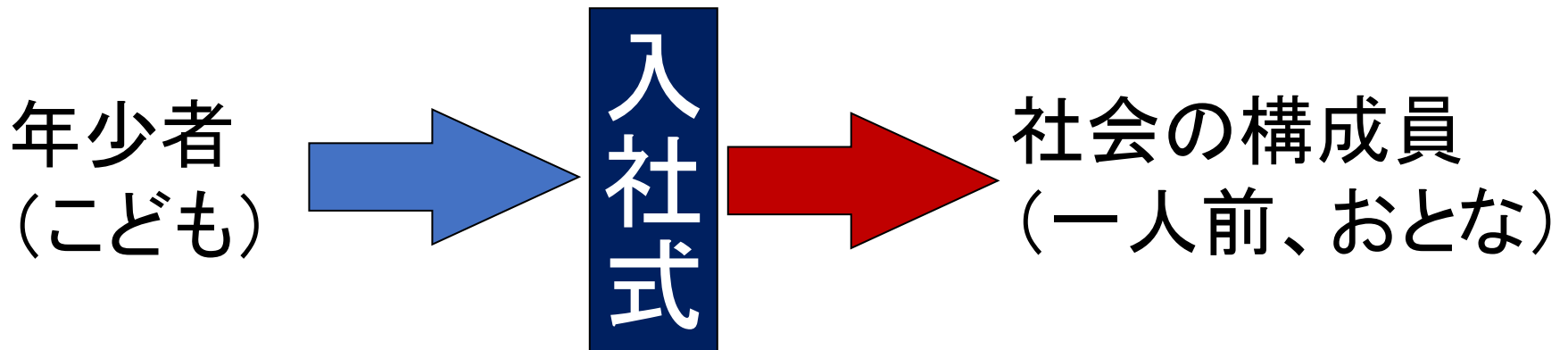
・そこでは、その社会集団にとって必要な知識技術やルールなどが集中的に伝達された。



Ⅲ 最初期の教育制度

【参考】 最初期の教育制度……入社式
(加入礼、通過儀礼、イニシエーション(initiation))

・それ故に、入社式は人類の最初期に現れた教育制度と考えられている。【重要】



Ⅲ 最初期の教育制度

【余談】 入社式の種類

端的には、「これを終えたら一人前」という儀式である。その形態は時代や地域により様々である。

抜歯や入れ墨など、一定の痛みをともなうものもある（「この痛みに耐えてこそ一人前」ということか）。

かつての日本では、「元服」という儀式があった。元服の前後では、男女とも髪型や服装が変わる。

Ⅲ 最初期の教育制度

【余談】 入社式の種類

学生が知っているであろう入社式としては、
コレがある。



バナアツのある島で行われていた成人のための
儀式(ナゴール)が由来となっているという。

小テストの実施について

※以上、第3テーマは終了となる。

なかなか難しい内容も含まれるが、
次テーマでもほぼ同じ概念を見ていく。

第3, 4テーマ合わせて一定の理解を
果たしてほしい。

おわりに

- ・なかなか先が見えないからこそ、
「なすべきをなす」ことが求められると考えています。

